



令和6年3月5日

地域貢献計画書

氏名又は名称及び法人にあつてはその代表者の氏名
イオンリテール株式会社
代表取締役 井出武美
住所
千葉県美浜区中瀬一丁目5番地1
地域貢献担当窓口
開発本部 南関東開発部

店舗名称 （仮称）イオンスタイル高田西

店舗所在地 横浜市港北区高田西一丁目753番1ほか

【地域貢献に対する方針】

イオンの基本理念は、「お客様を原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。」ことです。

地域社会そして国際社会の一員として、イオンは社会貢献活動に取り組んでいます。

【地域貢献の取組内容】

取組分野	項目	具体的内容
総合的な取り組み	包括連携協定の締結	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市とイオン株式会社は、平成 24 年 5 月 9 日（水）、環境保全、子育て支援、健康づくりなど 10 分野において、相互の連携を強化し、横浜における市民サービスの向上と地域の一層の活性化に資する『包括連携協定』を締結しました。今後、本協定をベースとして、それぞれの強みを活かしながら、地域活性化に資する取組の検討を進めていきます。 （1）ヨコハマみらいWAONカードの活用に関する こと （2）環境保全・環境活動の支援に関する こと （3）子育て支援に関する こと （4）健康づくり・食育に関する こと （5）高齢者・障害者支援に関する こと （6）観光振興・スポーツ振興に関する こと （7）くらしの安心・安全に関する こと （8）青少年の健全育成に関する こと （9）災害対策に関する こと （10）その他市民サービスの向上や地域の活性化に 資すること
地域まちづくり・地域福祉	地域のまちづくりに取り組む 団体への協力	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月 11 日のイオン・デーには、地域のボランティア団体などの名前と活動内容を書いた投函 BOX をお店に置いています。この日は、お客さまがレジ精算時に受け取られた黄色いレシートを応援したい団体の投函 BOX へ入れていただくと、お買い上げ金額合計の 1% が地域ボランティア団体などに希望する品物で寄贈されます。 ・サポートを必要としているボランティア団体と、「応援したい」という気持ちをお持ちのお客さまを結ぶ取組、それが「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」です。地域のコミュニティの一員として、イオンはこの取り組みの輪をさらに広げていきます。
	地域のまちづくりに取り組む 団体への協力	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨコハマみらい WAON カードの利用金額の 0.1% は、横浜市の「横浜市環境保全基金」に寄附され、環境活動団体に対する表彰制度や助成制度など、地域に根ざした環境保全活動に活用されます。（全国どこで利用しても、利用金額の一部は横浜市へ寄附されます）
	商店会への加入	<ul style="list-style-type: none"> ・商店会への加入は、港北区商店街連合会様と協議の上、検討させていただきます。
	地域活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・公園愛護会の活動への支援、清掃活動等への参加については、協議の上、検討させていただきます。
健康・福祉	高齢者、障害者等に配慮した取組	<ul style="list-style-type: none"> ・車いす使用者用駐車場の適正利用の周知方法について検討させていただきます。

取組分野	項目	具体的内容
環境	地球温暖化対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 店舗利用者や近隣住民が電気自動車やプラグインハイブリッド車に乗りやすい環境となるよう、駐車場内に充電設備を設置した駐車枠を設けるなどを検討します。 ・ 店舗で使用する電気については、再生可能エネルギー等を使用した低炭素な電気の選択を検討します。
	生物多様性に関する取り組み 「MSC認証」「ASC認証」 「FSC認証」商品	<ul style="list-style-type: none"> ・ イオンは、生物資源の持続可能性に配慮した商品を積極的に取り扱っています。 海の恵みを受け続けるために適切に管理された持続可能な漁業を認証するのが「海のエコラベル」と呼ばれる「MSC(海洋管理協議会)認証」です。責任のある養殖により生産された水産物であることを認証するのが、「ASC(水産養殖管理協議会)認証」です。また、適切に管理された持続可能な森の木であることを認証するのが「FSC®(森林管理協議会)認証」です。
	資源循環に関する取り組みの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球の資源には限りがあります。資源を使って新しいものをどんどん作っては捨てていると、資源が足りなくなるだけでなく、ゴミ問題や公害問題などさまざまな環境問題を引き起こします。そこでイオンではゴミを少しでも減らすため、3つのRでゴミ削減に取り組んでいます。 Reduce：ゴミになるものをできるだけ持ち込まない Reuse：できるだけ何度も使う Recycle：使えなくなったものは捨てずに再資源化や熱化して再生利用する
	資源循環に関する取り組みの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 店頭リサイクル回収を行っています。 貴重な資源を捨てずに再資源化するために、イオンの店頭では紙パック、食品トレイ、アルミ缶、ペットボトルの回収BOXを設置しています。回収したアルミ缶や紙パックは「トップバリュ」の原料の一部に使用し再商品化するなど、循環型社会の構築に向けた取り組みを積極的に続けています。
	資源循環に関する取り組みの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ イオンは、1991年から「買物袋持参運動」に取り組んでおり、現在は全グループ会社でレジ袋の無料配布を終了しています。2022年度、お客さまにご辞退いただいたレジ袋は約33億枚で、約10万2,500t-CO₂のCO₂削減に相当します。販売したレジ袋の収益金は毎年、全国各地の自治体や団体に寄付し、地域での様々な環境保全活動にお役立ていただいています。
	浸水対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雨水の利活用などについて検討します。
	その他環境対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1991年4月29日の「緑の日」から、イオンは「クリーン&グリーン」キャンペーンを展開しました。このキャンペーンは、グループ企業の社会貢献活動を社員のボランティア活動に発展させたものです。 クリーン活動とは、単なる清掃活動ではなく「心のクリーン」すなわち自ら進んで行う社会奉仕活動と意義づけています。また、グリーン活動は植樹活動を含め、自然環境の保全といった幅広いとらえ方をしております。

取組分野	項目	具体的内容
道路交通	その他交通対策への協力	・ シェアサイクルポートの設置について検討させていただきます。
	その他交通対策への協力	・ 周辺の交通環境や生活環境を悪化させないようオープン時等には適切に交通整理員を配置する計画です。
防災・防犯	災害時における協力	・ 建物や駐車場が避難場所として安全が確保できると判断した場合には、災害時等の緊急避難場所として建物や駐車場の一部を解放することを検討します。